【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和1年9月19日(2019.9.19)

【公開番号】特開2017-164365(P2017-164365A)
【公開日】平成29年9月21日(2017.9.21)
【年通号数】公開・登録公報2017-036
【出願番号】特願2016-53692(P2016-53692)
【国際特許分類】
*Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２６Ｄ

【手続補正書】
【提出日】令和1年8月6日(2019.8.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
本体枠に着脱可能な扉枠を備えた遊技機であって、
前記扉枠には、複数の発光部が設けられており、
前記複数の発光部のうちの所定の発光部の間には、前記遊技機を正面視して左右方向に貫通する貫通領域が設けられている
ことを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
そこで、本発明は、上記の実情に鑑み、遊技機の前方にまで移動しなくとも探しやすい遊技機の提供を課題とするものである。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
上記課題を解決するために、本願発明は、
「本体枠に着脱可能な扉枠を備えた遊技機であって、
前記扉枠には、複数の発光部が設けられており、
前記複数の発光部のうちの所定の発光部の間には、前記遊技機を正面視して左右方向に貫通する貫通領域が設けられている」ことを特徴とする。
また、上記発明とは別に以下の手段を採用してもよい。
手段１：遊技機において、
「遊技が行われる遊技領域を有している遊技盤と、
該遊技盤を前方から着脱可能に保持している本体枠と、

該本体枠の前面側を開閉可能に閉鎖しており、前方から前記遊技領域を視認可能としている扉窓を有している扉枠と、
該扉枠における前記扉窓の左右方向の少なくとも一方の外側から前方へ平板状に延出しており、左右方向に貫通しているサイド窓、及び前記遊技領域内において遊技が行われることで変化する遊技状態に応じて前記サイド窓を通した視認性を変化させる視認性変化手段を有している扉枠サイドユニットと
を具備している」ものであることを特徴とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８６】
このように、本発明によれば、遊技機の前方にまで移動しなくとも探しやすい遊技機を提供することができる。